

「書くこと」に関する問題

年

組

番氏

山田さんの学級では、身のまわりから様々な課題を見つけ、それについての自分の考えを書き、みんなに発表し合うことになりました。次の文章を読んであとの問いに答えなさい。

「 A 」

〇〇小学校 山田 花子

①わたしは毎朝、駅前を通って学校に通っています。そこには歩道や信号機が整備されていて、これまで、不便を感じたことはありませんでした。

②そんなある日のこと、白いつえをついた方に出会いました。ゆっくりゆっくり点字ブロックを確かめながら歩いています。目が不自由であることはすぐわかりました。その日は声をかけることもなくわたしは学校への道を急ぎました。

③次の日、同じ場所でまた昨日の白いつえをもった方に会いました。信号機の手前で歩く足がパタリと止まりました。どうしたんだろうと目をやると、白いつえをぐるぐる回して困っているようでした。勇気を出して声をかけてみました。

「どうしたんですか？何かお困りですか？」
すると、つえをもったその方はこう答えました。

「点字ブロックをたよりにここまで歩いてきたのですが、ここで点字ブロックがこわれてしまっているようです。この後どちらに進んだらよいかわからなくなっ てしまいました。」

その言葉に目をやると、ここまで続いていた点字ブロックがここでこわれてしまっていることがわかりました。

④目の見えるわたしたちには何でもないことが、目の不自由な人にとっては命に関わることになってしまうのだとその時思いました。目の見えない世界はどれだけ不安なことでしょう。点字ブロックは目の見えない人にとっては命綱いのちづなです。点字ブロックがいかに大事かをみんなに呼びかけるとともに、早急に直してもらえるように大人の人に働きかけたいと思います。

問一 山田さんが前ページの意見文でみんなに言いたいことは何段落に書かれていますか。①～④の番号で答えましょう。

答え

問二 山田さんは説得力のある文章にするために工夫をしています。次のうちどのような工夫をしているでしょうか。一つ選んで（ ）に○を書きましょう。

- () ・想像したことを書くことで、困り感を伝えようとしている。
- () ・事実に基づいた会話文を入れることで説得力をましている。
- () ・目の障害について詳しく述べることで、困り感を伝えようとしている。
- () ・学校での出来事をくわしく書いている。

問三 この意見文に題名をつけたいと思います。どのような題名をつけたらよいでしょう。

- () () 目の障害について
- () 点字ブロックは命綱
- () 安全な登校について
- () 横断歩道に気をつけよう

「書くこと」に関する問題

【解答】

問一

答え

④

問二

(〇) ・ 事実に基づいた会話文を入れることで説得力をましている。

問三

(〇) 点字ブロックは命綱

【解説】

本問題は「書くこと」に関する内容からの出題です。

身の回りで関心をもったことについて書き、みんなに呼びかけようというねらいがあります。そこで、題名を工夫したり、伝えたいことをはっきりと書くことが大事です。

問一は④の段落に書き手の言いたいことが書かれていることは、読めば一目りようぜんですぐわかります。

問二は③段落に着目すると、詳しい事実とそこでのやりとりから、そのことが説得力を増していることにつながっていることがわかります。

問三はこの意見文に題名をつけるといふ問題ですが、読み手に強い印象を与え、かつ書き手の言いたいことが伝わるような題名を考えると、答えが導き出せます。